

令和八年 新年のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を
穏やかに迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、不安定な社会情勢
を背景に、エネルギーや穀物など、幅広い品目の価
格高騰が続き、その余波は、電気や燃料、食品や日
用品、肥料や飼料などの値上げという形で、我々の
暮らしや事業活動に大きな影響を与え続けました。

また、クマの異常出没につきましては、里山だけ
でなく、人の生活圏にまで出没するケースが全国的
に相次ぎ、当町でも人身被害が発生するなど、我々
の安心・安全を脅かす異常事態となりました。

さらに、12月8日に発生した青森県東方沖を震源
とする地震では震度4を計測し、一部被害はあった
ものの、幸い人的被害や住宅被害はなく、あらため
て自然災害に対する防災・減災への備え及び対応協
議を、消防団や自主防災組織と密に行う必要がある

と認識したところであります。

令和8年は、令和17年度までを計画期間とした「第7次田子町総合計画」及び総合計画実現のための重点プロジェクトとしての、「まち・ひと・しごと創生第三期田子町総合戦略」がスタートする年であります。10年後のまちの将来像である『ひとが育ち 支えあいながら 地域力で 未来を拓くまち』を実現するため、少子高齢化等の進行による人口減少という現実を直視しつつも、人と人との絆を大切にしながら、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮でき、誰もが自分らしく、住み慣れた地域で、いきいきと暮らせるよう、分野ごとに各事業を展開して参ります。引き続き、持続可能で安定した町の運営に心がけ、ご理解とご協力、ご参加を頂きながら、スピード感を持って努めて参りたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

それでは、令和8年の主な方針について、ご説明致します。

一つ目は、各種交流活動の推進であります。

地域社会における自治会活動やサロン活動、各種イベントの開催などは、人と人、心と心がつながる

機会でもあり、活力や潤いをもたらすものとして大いに期待する所であります。

本年は、各事業を通じ地域の皆様が共に信頼し合い助け合い、人と人のつながりを更に強くする取り組みについて支援を強化する事により、住みよく・安全に暮らせるまちづくり、優しさに溢れたまちづくり、自分の居場所を確認できるまちづくりを目指して取り組んで参ります。

経済的な豊かさは大切ですが、信頼できる人々に囲まれ、共に助け合い、安心して暮らせる「心の豊かさ」「心豊かな営み」を実感し、共有する事が最も大切であると考えます。

その為に、皆が知恵を出し合い、協力し合い、助け合って、私たちの暮らすこの町で、生きがいとやりがいにも満たした生活を営むことができる様、『田子町型地域共生社会』の実現に向けて、着実な推進を図って参ります。

二つ目は、災害や犯罪などに対応する危機管理の強化、ひとづくりであります。

巨大地震や、線状降水帯の発生による大雨、ゲリ

ラ豪雨などの自然災害、特殊詐欺・投資詐欺・ロマンス詐欺、特に高齢者を狙った悪質な犯罪等に対し、知識の共有と備えを行う事により危機管理意識を高め、一人で悩む事無く、互いに気軽に相談できる地域での結びつきを図りながら、有事の際の連絡体制の確認や初動体制及び対処方法の訓練などを実施致します。

三つ目は、悩み事の相談と解決に向けた取り組みの研究であります。

現在、大きな課題として捉えているものには、空き家及び住居問題、高齢者の今後の生活不安、田畑や山林の扱い、お墓の管理、買い物への不安などがあり、一人で悩んだり、家族との話し合いが進まなかったり、相続放棄により解決されない案件が増加傾向にあります。

町では、一気に解決する方法は持ち合わせておりませんが、現状を把握し、課題解決の糸口を見つける事で、国や県に働き掛けて参りたいと考えております。一人で抱えている悩み事は、多くの方が悩んでいる事かもしれないと言う観点で、取り組んで参

ります。

田子町は小さな町であります。次世代にしっかりと引き継ぐ事が出来る、魅力あふれる町とし、様々な課題を克服しつつ、穏やかに暮らし続け、笑顔溢れる町を、町民の皆様と共に創って参りたいと考えておりますので、ご理解と共に、積極的にご参画下さるよう宜しくお願い致します。

なお、本年も、役場は町民の役に立つ場所として、その利便性を高め、効率化を図りながら、気軽に越しいただけるよう職員共々、取り組んで参りますので、皆様のより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって幸多い年でありますよう御祈念申し上げます、令和八年の年頭にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

令和八年一月

田子町長 山本晴美